放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2026年10月31日

事業所名　　放課後等デイサービス　虹の森

		チェック項目	実数			割合
			はい	いいえ	合計	はい　いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	5	100% 0%
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	0	5	100% 0%
	3	生活空間は、こどもに分かりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	5	0	5	100% 0%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	5	100% 0%
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	5	100% 0%
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	5	100% 0%
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	5	100% 0%
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	5	100% 0%
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	5	0% 100%
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	5	100% 0%
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	5	100% 0%
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	5	100% 0%
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	5	0	5	100% 0%
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5	0	5	100% 0%
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	5	0	5	100% 0%
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こど	5	0	5	100% 0%
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	5	100% 0%
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	5	100% 0%
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	5	100% 0%
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	5	100% 0%
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	5	100% 0%
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	5	100% 0%
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	5	100% 0%
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0	5	100% 0%
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	5	100% 0%
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	5	100% 0%

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	5	100% 0%
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	5	100% 0%
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	5	100% 0%
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	5	100% 0%
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	5	100% 0%
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	5	100% 0%
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	5	100% 0%
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	5	100% 0%
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	5	100% 0%
保護者への説明責任等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	5	100% 0%
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	5	100% 0%
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	5	100% 0%
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	5	100% 0%
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	5	100% 0%
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	5	100% 0%
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	5	100% 0%
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	5	100% 0%
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	5	100% 0%
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	5	100% 0%
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	5	100% 0%
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	5	100% 0%
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	5	100% 0%
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	5	100% 0%
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	5	100% 0%
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	5	100% 0%
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	5	100% 0%
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	5	100% 0%
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	5	100% 0%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2026年10月31日

事業所名放課後等デイサービス　虹の森

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	学習室と共有スペースがわけてあり、落ち着いて学習できます。	学習室で集中して学習できるように音の問題を解決していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	保育士や児童指導員等有資格者を配置しています。	現状では問題なく配置していますが欠員等出た時に即対応できるように改善いたします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされて	使用目的に応じた使い分けをしており、こどもはそれを十分理解しています。全てがバリアフリーではないのですが、現時点では適切です。	将来的に玄関の段差をなくす等バリアフリー化を進めていきたいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	空調で室内の温度を調整しています。また運動系の活動時には危険がないように、物の配置が適切になるよう気を配っています。	子ども達が心地よく安心して過ごせるように今後も気を配ってまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	学習室や奥のスペースを利用して、それぞれの活動目的や子供の特性に合った利用をしています。	ひとり一人の個性に合った空間の使い方ができるように今後も配慮して参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	現状を把握し、分析後、実行し、改善には柔軟な発想でスピーディにおこなうよう努めております	職員間のコミュニケーションを密にし、問題にいち早く気付き即時対応できるように努めて参ります。また、職員のレベルアップを徹底してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	評価表の結果だけではなく、日ごろから保護者様の声を真摯に受け止め改善につなげております	内容を絞ったアンケートを実施、定期的に行うように検討しております。また保護者様のご意見には迅速に対応してまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	毎日職員間で話し合い、様々な情報を共有しています。	会議の場にいない職員にも情報を共有できるように伝達方法を徹底して参ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	現時点では行っておりませんが今後の実施を検討させていただきます。	今後行っていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	研修委員会を組織し、常時各種研修をおこなっています 外部研修にも参加しています	全員での参加が難しい外部研修の場合は、参加した者が、全体会議で報告、職員全員の資質の向上に努めて参ります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	担当者が中心となり、虹の森ならではの活動プログラムを全職員で立案し、HP等で公表しています。	個々の特性や発達ニーズに沿った活動プログラムや季節感なども取り入れ、職員全員で話し合いながら翌月の活動に反映させています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	アセスメントやモニタリング等を定期的に行い、子供や保護者のニーズや課題を分析し、計画を作成しています。	面談はいつでも受け付けておりますので、ご希望があれば行うことを知っていただけるようにお声掛けをしていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われてい	なるべく全職員が揃った中で会議が行えるように努めております。	ご利用者の配慮すべき点や最近の様子について職員間で情報共有をし、支援しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	個別支援計画の更新時には情報を共有しております	全員の周知に再度、もれがないよう検討する必要があります
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認してい	確認しております	職員間の話し合いを頻繁に行い、日々の行動観察も併せて全員に周知徹底するよう再度検討して参ります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支	各項目に対して細かに支援内容を設定しております。	各項目に対して必要なニーズを考慮した上で適切な目標を立て、具体的な支援内容を個別に設定しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	担当者が中心となり、虹の森ならではの活動プログラムを全職員で立案しています	個々の特性や発達ニーズに沿った活動プログラムや季節感なども取り入れ、職員全員で話し合いながら翌月の活動に反映させています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	継続した活動であってもさらに、『楽しい』を工夫しております	事業所間で活動について報告を行い、協力し日々工夫できるように努めて参ります。また地域連携からも様々な地域の行事に参加していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	子どもの状況に応じて柔軟な計画を立て、支援を行っております	組み合わせていますが、平日における個別活動を時間的に検討する必要があります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	支援前の打ち合わせ会議で確認しております	ご利用者の配慮すべき点や最近の様子について職員間で情報共有をし、支援しています。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	職員間のコミュニケーションを密に取り、必要な情報を共有しております	全員の周知に再度、もれがないよう検討する必要があります
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	事実のみを正しく記録し、支援の改善に職員全員で繋げております	支援記録の内容を職員全員で共有するようにしてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	定期的にモニタリングをおこない、計画の見直しをおこなっております	支援の記録から利用者様のステップアップを目指した計画を作成できるよう努めて参ります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	月の活動計画時には必ず基本方針をまんべんなく取り入れ、支援を行っております	全職員がガイドラインを理解し支援をおこなえるよう、社内研修等を更に行って参ります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	子どもの意思を尊重し、必ず自己決定が出来るようにしています。	それぞれの子どもに合わせて様々な選択肢を用意するようにしていますが、選択肢を増やす努力を行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	児童発達支援管理責任者が参加しております	研修等を進め、誰でも参加できるような体制を作っていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	地域資源と協力・連係して情報共有をし、支援を行っております。	これからもより密な連携を図り、子どもの生活全般を鑑みて必要な支援を行えるようにして参ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	利用者の情報共有と送迎を安全に行うため、学校と連絡調整を行っております。	学校との情報共有が欠けている場合は学校訪問等をおこない、協力を求めていくよう努めて参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	当時の資料をいただいて情報を共有しております	さらに細かい点における情報共有が出来ていないため、積極的に努めてまいります
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	利用者の学校卒業後の生活に向けて事業所の体験等をおこなっております。	地域の事業所と協力し、体験等を積極的に行って参ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	研修に参加できる職員が参加し、その後、全職員に報告をしております	研修だけではなく、連携を深めることを積極的に努めて参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	公園利用時や地域のお祭り・イベント等を通して交流しています	積極的に行事等を通して定期的な交流をしていけるよう努めます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	市からの協議会参加要請がある時には積極的に参加しております。	地域の情報共有・資源開発のために今後積極的に参加していきたいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	送迎時や、ご希望の保護者様には連絡ノートでお知らせできるようにしております	全ての保護者様と共通理解を持てるよう、信頼に努めて参ります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	子育てサポートとして、送迎時保護者に対し子育てに関するお困りごとのアドバイスを行っております。	個別にも保護者の要請により即時対応できるような体制を取って参ります。
保護者への説明責任等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	契約時に説明をし、不安がある場合はその都度説明をしております	随時対応できるように、また定期的に保護者様とお話ができる場を検討しております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている	必ず子どもや保護者にモニタリングを行い、ご意向を確認して作成しております。	保護者の方へのモニタリングを速やかにお返事がいただけるように工夫して参ります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	計画書は必ず保護者の方に説明し、同意のサインをいただいております。	変更点が分かりやすくお伝え出来るように、工夫して参ります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	随時相談に応じております	更に支援が必要な場合の対応を検討しております(必要な機関との連携に努めて参ります)
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の	保護者会等の設置はしておりませんが、夏祭り・遠足・収穫祭・親子参加の活動・社長と話そう会などのイベントを毎年計画し交流の場となるようお声がけをしており	保護者会等、イベントや親子参加の活動を通じて保護者様同士の連携支援に努めて参ります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	管理者と相談し内容をまとめ、適切に対応している、また事業所間の情報共有も行っております	小さな事例でも職員間の情報共有、改善に努め、保護者様との信頼関係が築けるよう、全職員が努めて参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	毎月発行の「にじ」、アプリを通じてイベント情報などを発信し、出来るだけ詳細にお伝え出来るように努めております	アプリでの発信力を高め、、通信を楽しみにしていただけるよう今後も努力してまいります。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	個人情報は外部の目に触れないよう配慮し、文書等の破棄にはシュレッダーを使用、また、お預かりしております文書及びデータに関しましても十分注意をしております	気の緩みが起きないよう、十分に注意してまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	利用者様との意思の疎通や情報伝達の方法は常に考えております	保護者様との情報伝達方法は検討の余地があるため、早急に対策を講じたいです。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	農業体験などに地域の方と協力したり、清掃活動を月に1度取り入れ活動しております	活動の中で地域の公園や施設の近所の清掃を意識的に行い、地域連携を図るよう努めて参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	重用事項説明書などにもマニュアルを記載し、保護者のご理解に努めています。各種訓練も実施しております。	3事業所共通の対応を保護者の皆様にも周知していただけるように、検討してまいります
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	活動に避難訓練を盛り込んでおり、定期的に行っております。	計画に沿って定期的に必用な訓練を実施して参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	確認しております。	現在のところてんかん等のある方はいませんが、今後ご相談に応じて医師とも連携を取り、状況を確認して対策を立てて参ります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	行っております。	現在のところ重篤なアレルギーのある方はいませんが、今後ご相談に応じて医師とも連携を取り、対策を立てて参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	安全計画を策定し、掲示して保護者の方や利用者にも周知徹底を行い、研修や訓練も計画に沿って行っています。	安全計画は施設入り口掲示しており、面談時等にもお話をさせていただいておりますが、周知徹底出来るように致します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	面談時に説明すると共に施設にも掲示し、周知を行っております。	全保護者様に理解していただけるように取り組んでいきたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3事業所間で必ず共有しております	小さな事例が重大事故に繋がらないように職員間で情報を共有し、同様なミスが二度と起こらないように徹底してまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	虐待防止研修（基礎・実践）、を受講する、毎月のチェックリストを行うなどしています	研修だけではなく日ごろから全職員で事例を話し合い、意識付けて参ります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	身体拘束については個別支援計画内にもあり保護者の方には同意をいただいております。	状況に応じて細かな取り決めをし、意思決定が出来るようにして参ります。